



第2回検討会 高砂小の未来の姿を共有しました！

1 本検討会の「基本的な考え方」が決まりました！

本検討会の「基本的な考え方」を、【共生共創】と決定しました。この考え方を、今後の様々な協議の原点とします。

子ども・保護者・教職員・地域の人々が高砂小で出会い、関わり合う中で共に成長を続けていこうという「想い」と、高砂小の教育資産を活かし、将来この地域に生きるすべての人々の豊かな生活を実現するという「未来」を目指し、施設のあり方を協議してまいります。



2 様々な角度から捉える「新しい高砂小施設のあり方」

協議は、第1回検討会で話題に上がったテーマを中心に話し合った後、高砂小で大切にしたいことをさらに深めていきました。各委員はテーマに対し、率直な意見を出し合い、今後の高砂小の子どもたちにとってふさわしい施設のイメージを構築しました。

子どもたちの未来の学びの姿を想像し、児童自らがタブレットや本を、学校内の様々な場で活用し、あらゆる学び方にも対応できるという「自由度の高い学習施設」を実現してほしいという意見があがりました。また、校舎内外に残る数多くの卒業制作や、本校のシンボルともいえる白壁・正門といった「古きよきもの」も、高砂小の財産として施設づくりをする上で大切にしてほしいという想いも共有しました。

途中、学校施設は子どもの安全面の確保を大前提とし、その上で「子どもにとって何が大切か？」という考えに基づいて判断していこう」という言葉が委員の方から出ました。すると、参加者全員で大きく頷く姿が印象的でした。高砂小に深く根付く、「まず、子どもありき」の考え方を基として今回協議した様々な意見を、我々高砂小の声とし、今後施設づくりを進める市教育委員会へ伝えたいと思います。

次回の検討会では、今回の協議内容を踏まえ、高砂小施設の基本計画の概要が一部で明らかになる予定です。長い歴史を積み重ねてきた私たちの高砂小が、未来のあるべき姿を目指してどのような姿へと変わっていくのか、今から楽しみですね。



3 編集後記

教育には不易と流行があり、そのどちらも大切にしなければなりません。これまで高砂小学校が大切にしてきたことを引き継いでいく責任を感じながらも、これからの高砂小学校の未来を、学校、家庭、地域が協働して描いていきたいと思いました。次回も「子どもにとって何が大切か」という視点で検討してまいります。

